

## 記事掲載のお知らせ

|      |                   |
|------|-------------------|
| 媒体名  | 日刊旅行通信            |
| 発行   | 航空新聞社             |
| 発行日  | 2023年7月3日(月)      |
| 掲載箇所 | P5                |
| タイトル | 出張とサステナビリティに関する考察 |

気候変動は世界で最も切迫した課題のひとつであり、持続可能性の課題に取り組むことは、旅行業界の将来にとって不可欠です。この記事では、持続可能な旅行を実現するためのさまざまな手法について探求し、航空業界の脱炭素化に向けた最も有望な道筋を探ります。

私たちは常に、旅行が世界において善の力であると信じてきました。旅行は進歩を促進し、産業を横断して貿易や商業を推進する力を持っています。世界旅行観光協議会(WTTC)によると、このセクターの直接的な経済的貢献は、世界のGDPの7.6%に相当します。この数字には2022年に創出された新たな雇用の数も含まれています。旅行はまた、社会的な進歩を促進します。それはコミュニティをつなぎ、相互の尊敬と理解を築くことによって、人々を結びつけるからです。旅行の必要性を示す証拠として、人々は旅行が可能になると、直ちに旅行を優先事項としてきた、という単純な事実が挙げられます。

出張はビジネスの成長を促進するために欠かせない要素です。そのため、企業の出張プログラムにはサステナビリティへの考慮を組み込むことがますます重要になっています。

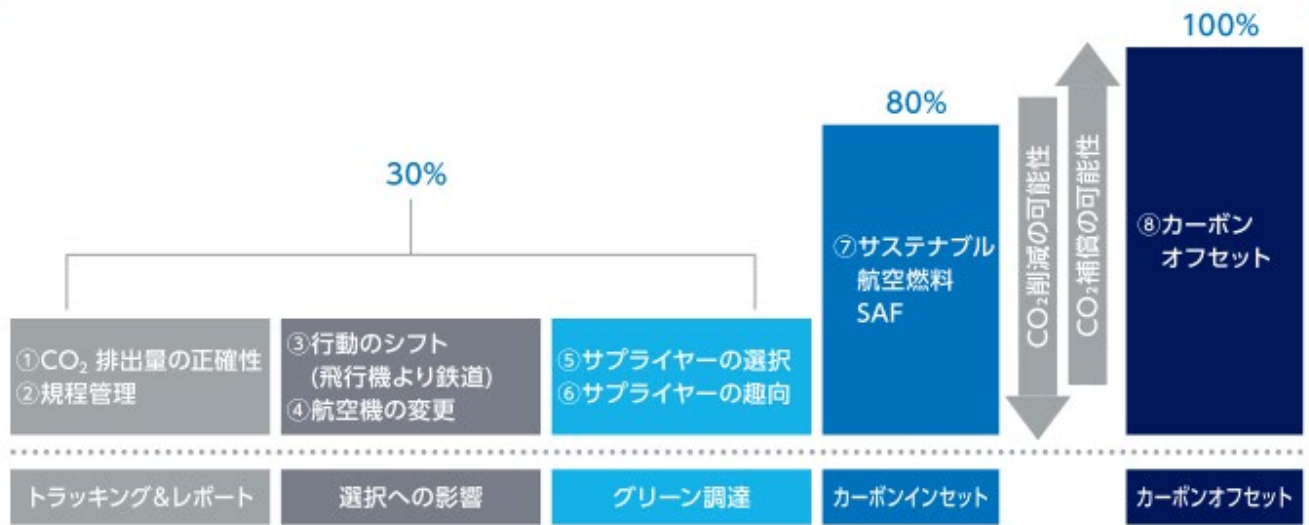
### クライアントへのサポート

多くの企業がネットゼロや削減目標を掲げ、その多くが2030年をマイルストーンとした目標を設定していますが、その期限まであと7年弱しかありません。私たちの多くのクライアントにとっても排出量の削減は最重要課題のひとつです。

そこで私たちは、グリーンマーケットプレイスを構築し、クライアントとサプライヤーが低炭素な未来への移行を加速するための解決方法を見つけるお手伝いをするにいたしました。5つの主要な柱に焦点を当て、それぞれの柱において、企業がゼロエミッション目標を達成するために活用できる一連の解決方法と手段を提供しています。



## 航空機の脱炭素化のための様々なオプション



### ① トランキング&レポート

経営学者ピーター・ドラッカーの名言「測定できなければ、管理できない」という言葉があるように、分析ツールは、環境戦略の立案に役立つ強力なサポートとなり得ます。私たちは、クライアントと協力して、目標設定、飛行機、鉄道、自動車、ホテルによる排出量のトラッキングとレポートを行っています。これは、Amex GBT 独自のツール「Insights」および「Premier Insights™」を使用して実現できます※1。さらに、Amex GBT のグローバルビジネスコンサルティングチーム(GBC)は、「Green Compass」を開発しました。最初のステップとして Green Compass のデータインサイトという機能を利用すると、企業が自社の出張プログラムの概要を把握し、カーボン排出量削減の当初の機会を特定することが可能となります。また、GBC は、それぞれのクライアントに合った脱炭素化戦略の設計と実施を行い、より広範なサステナビリティの目標に沿った出張が実施できるよう支援します。脱炭素化の推進には、出張規程・プログラムの最適化、サプライヤーマネジメント、チェンジマネジメントなどが含まれます。

### ② グリーン調達

私たちは、クライアントが最も持続可能なサプライヤーと共にグリーン調達をし、持続可能性のための予算を策定する支援をします。これは、環境への影響を最小限に抑えるために大きな影響力を持つミーティングやイベント業界にも適用されます。当社のクライアントは、当社の提供するサステナブルミーティング&イベント用ツールを使って、カーボン排出量を削減するための戦略を立て、実行することができます。これらのツールは、当社ミーティング&イベントチームから入手可能です。

### ③ 販売時点(Point of Sales) における選択への影響

出張者は、検索結果、旅程、モバイルアプリにおいて、排出量の値を確認できます。この取り組みにより、出張者は自分の選択が企業が環境に与える影響について知ることができ、中長期的な変化を促進することができます。「Neo™」は、Amex GBT が独自に開発した旅費・経費のプラットフォームで、顧客の CO<sub>2</sub> 目標達成を支援する戦略に重点を置いています。製品開発には、出張者向けにグリーンな選択肢を表示するフィルター機能から、出張管理者向けのサステナブル規程管理ツールなどが含まれます。

#### ④ カーボンオフセット

カーボンオフセットとは、短期的に排出量を「中和／相殺」するための、即時かつ比較的簡単な方法です。当社のクライアントは、世界中のさまざまなプロジェクトの種類、価格帯、場所から、支援したいオフセット活動を選択できます。また、Amex GBT は、気候テクノロジー企業の CHOOOSE と協定を締結し、予約およびレポートツールに CHOOOSE のカーボン排出量計算を統合しました。

#### ⑤ ネットゼロ航空を目指して

持続可能な旅の究極の目標は、排出量を最小限に抑えることです。世界経済フォーラムでは、世界の二酸化炭素排出量の3%を航空業界が占めていると指摘しています※2。また、同記事では、実効性のある対策が実施されなければ、2050 年までに 22%に増加する可能性があるとして述べています。日本の経済産業省は「日本の空港を利用する国際線の航空燃料の 10%を持続可能なものにすることを義務付ける」※3と報じられました。

また 2021 年には、国際航空運送協会(IATA)は、2050 年までにカーボン排出量のネットゼロを達成することを決議しました※4。

化石ベースのジェット燃料に代わる最も実現可能かつ拡大可能な代替燃料は、持続可能な航空燃料(SAF)です。Amex GBT は 2011 年から Shell Aviation と提携し、革新的なプラットフォームである「Avelia」を利用した独自のプログラムを開発し、旅行業界における SAF の需要拡大を支援しています。Avelia は、ブロックチェーンを活用した世界初の出張向けデジタル SAF ブック&クレーム方式(生産者が発行した認証クレジットを、最終利用者が購入する仕組み)のひとつでもあります。

SAF に対する主な批判は、特に従来のジェット燃料と比較した場合、高価であるという点です。また、SAF はまだ普及の初期段階にある製品であるため、供給の制約を受けることもあります。Amex GBT と Shell は、Avelia のプラットフォームを活用し、企業の購買力を結集して規模を拡大し、供給投資家に需要のシグナルを送ることを目指しています。航空会社と企業をグローバルに結びつけ、SAF のコストと利益を航空バリューチェーン全体に広めるというこのイニシアティブは、SAF をより広く、より手頃な価格で利用できるようにすることを目指しています。

#### 独自の取り組みについて

サステナビリティが企業にとって重要な優先事項であるのと同様に、私たちが模範を示すことが重要だと考えています。Amex GBT は、Science Based Targets initiative(SBTi)の正式なコミットメントに取り組み、2050 年までにネットゼロを達成することを目指しています。

**Clean Skies for Tomorrow Coalition:** Amex GBT は、世界の航空業界で使用される燃料に占める SAF の割合を 2030 年までに 10%に増加させることを目指す「2030 Ambition Statement」宣言に署名しました。

**First Movers Coalition:** Amex GBT は、FMC の航空コミットメントに署名しました。

**IATA(国際航空運送協会)のフライネットゼロコミットメント:** Amex GBT は、2050 年までに事業から排出される二酸化炭素をネットゼロにするという IATA の Fly Net Zero 公約を支持しています。

2022年、当社はトラベルマネジメントカンパニー(TMC)として初めて世界経済フォーラム(WEF)に参加しました。当社は、さまざまなイニシアチブに参加することを計画しており、すでに以下のような公約を掲げています。2022年11月、Amex GBTは、その環境・社会・ガバナンス(ESG)基準に対してプラチナ「EcoVadis」メダルを受賞しました。また同月、パリ協定で定められた目標を達成するためにイベント業界全体で取り組む「Net Zero Carbon Events(NZCE)」の誓約に署名しました。

## より明るい未来へ

旅行業界は、持続可能性のエキサイティングな旅に乗り出し、より明るい未来に向けて目覚ましい進歩を遂げてきました。しかし、私たちは現在、非常に大きな事業のごく初期段階にいることを自覚しなければなりません。各企業は、それぞれ異なる文化や組織構造、優先順位を持ち、持続可能性に向けてそれぞれが独自の道を歩んでいくでしょう。ご説明した5つの道筋は、出張におけるサステナビリティ戦略を構築するためのフレームワークを提供することを意図しています。クライアント、同僚、同業者の皆様と共に、日本や世界における出張のより明るい持続可能な未来に貢献できることを楽しみにしています。

日本の出張管理部門を継続的に啓蒙する取り組みの一環として、7月19日(水)に無料のウェビナーを開催します。このウェビナーでは出張による環境への影響を減らすために企業が行った施策をご紹介します。参加ご希望の方は、以下のリンクよりご登録ください。

[https://amexgbt.zoom.us/webinar/register/WN\\_1Pxsh5PuSjuba4CILtkqhw](https://amexgbt.zoom.us/webinar/register/WN_1Pxsh5PuSjuba4CILtkqhw)

<sup>1</sup> Amex GBT では、GHG プロトコル(温室効果ガスの排出量を算定・報告する際の国際的な基準)に従って温室効果ガス排出量を計算し、独自の排出量最適化アルゴリズムと、政府による主要な基準を提供しています。

<sup>2</sup> <https://www.weforum.org/agenda/2021/09/aviation-flight-path-to-net-zero-future/>

<sup>3</sup> [Japan to require overseas flights use 10% sustainable fuel - Nikkei Asia](#)

<sup>4</sup> <https://www.iata.org/en/pressroom/pressroom-archive/2021-releases/2021-10-04-03/>

※本記事の著作権は  
発行者に属します。